

女の中にいる他人 (1966)

メディア 映画
ジャンル ミステリー
製作国 日本
色彩 B&W
時間 102分
初公開日 1966/01/25

【解説】

エドワード・アタイヤのミステリ小説『細い線』を、井手俊郎が脚色し成瀬巳喜男が監督した。夫に殺人を告白された妻の苦悩と決断を描く心理サスペンス。

杉本は友人の田代と赤坂で飲んだ帰りに、妻さゆりが死んだことを知らされる。赤坂のアパートで、情事の末に絞殺されたのだった。容疑者も見つからず事件が風化しようとしていたころ、情緒不安定に陥っていた田代が妻の雅子に告白した。自分とさゆりが不倫関係にあったこと、そしてセックスの興奮を高めるために首を絞め、誤ってさゆりを殺してしまったことを。罪を償おうとする田代に対し、雅子は家族のためにも自首をしないでほしいと頼んだ。良心の呵責に耐えきれず自首を決心する田代に、妻の雅子は…。

【クレジット】

監督 成瀬巳喜男
製作 藤本真澄
金子正且
原作 エドワード・アタイヤ Edward Atiyah 細い線
脚本 井手俊郎
撮影 福沢康道
美術 中古智
編集 大井英史
音楽 林光
出演 小林桂樹 田代勲
新珠三千代 田代雅子
稲吉千晴 田代広志
塩崎景子 田代まり子
長岡輝子 田代栄子
三橋達也 Tatsuya Mihashi 杉本隆吉
若林映子 杉本さゆり
草笛光子 加藤弓子
稲葉義男 友田警部
加東大介 酒場のマスター
黒沢年男 バーテン
十朱久雄 平井
藤木悠 黒岩
中北千枝子 千代子
田辺和佳子 野村和子

河美智子
伊藤久哉
小川安三
一の宮あつ子
佐田豊
河辺昌義
鈴木治夫
関千恵子
毛利幸子
矢野陽子
中山豊
二瓶正也
浦山珠美
内山みどり
宮田芳子
庄司一郎
大塚秀男
坂本晴哉
小野松枝

小原雪子
記者A
記者B
生花の先生
旅館の番頭
旅館の客A
旅館の客B
川崎夫人
女中A
女中B
男A
男B
女A
女B
看護婦長
刑事
田口に似た男
運転手
家政婦